

ジャグラは一般財団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



GS

No.794
2018
01



■ 巻頭企画

若手ジャグリストが描く業界の未来とは！

中村会長とSPACE-21幹部3氏による新春座談会

■ 連載・シリーズ

POD活用先進企業を訪ねて③

フォト商材に商機を見出す ワン・トゥ・ワンの生産体制を確立

—— (株)YC・ドキュメント/東京・中央

需要創出を考える⑥

絵本を通して地元施設の魅力を紹介

—— (株)栄光プリント/石川

GP認定制度について②

CO₂排出量削減は エネルギーの無駄をなくし、経済効果を生み出す！

—— ジャグラ副会長 (株)興栄社/東京・城東 菅野 潔

■ NEWSとお知らせ

ジャグラ作品展、募集を開始！



ジャグラ HP にて
本誌 PDF 版を公開中。
PDF 版は紙媒体より約1週間
早い毎月中旬頃に
ご覧いただけます。



なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。
会長の中村耀です。

2018年最初の理事会で、長年ジャグラ会員に対し、災害時の備えをはじめとするBCPを啓蒙し続けて下さった増田光仁理事が、昨年12月26日に急逝されたことが報告されました。増田理事の長年の功績に感謝すると共に、ご冥福をお祈りいたします。

さて、年末はNHK紅白歌合戦を見て過ごしました。その中で、ゆずが『栄光の架け橋』を歌うのを聞いてジャグラの栄光の将来はどのようなものかを考えさせられ、今年9月に引退する安室奈美恵さんの『Hero』を聞いてジャグラ会員の皆さん一人ひとりがヒーローになれる年になればと思いを馳せました。

今年も一年、皆さんが活躍し、ジャグラの栄光の将来を描けるような事業を推進して参りますのでご理解・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

C・O・N・T・E・N・T・S

● 年頭所感

01 2018年、新年のご挨拶

—— ジャグラ会長 中村 耀

● 巻頭企画

02 若手ジャグリストが描く 業界の未来とは!

中村会長とSPACE-21幹部3氏による新春座談会

—— ジャグラ会長 NS印刷製本(株)/東京・新宿 中村 耀

SPACE-21代表幹事 (株)イデア/大阪 佐藤 元

SPACE-21副代表幹事 (株)オズプリンティング/山梨 小澤孝一郎

SPACE-21幹事/FACE会長 (株)アイト/東京・文京 谷口高広

● 連載・シリーズ

20 GP認定制度について②

CO₂排出量削減はエネルギーの無駄をなくし、経済効果を生み出す!

—— ジャグラ副会長(前環境委員長)(株)興栄社/東京・城東 菅野 潔

22 POD活用先進企業を訪ねて③

フォト商材に商機を見出す ワン・トゥ・ワンの生産体制を確立

—— (株)YC・ドキュメント/東京・中央

24 需要創出を考える⑥

いしかわ応援プロジェクト 絵本を通して地元施設の魅力を紹介

—— (株)栄光プリント/石川

● NEWSとお知らせ

10 ジャグラ作品展、募集を開始!

—— 締切3月末、昨年1~12月までに完成した作品が対象です!

16 JIS Q15001 2017年版が12月に大幅改正

—— 改正個人情報保護法への対応、ISO共通要素を採用

26 業界の動き

ジャグラ 11.21 東グラ・賛助会員懇談会ひらくほか

29 ジャグラBB HOTNEWS

28 ジャグラ・スケジュール表

年・頭・所・感

2018年、新年のご挨拶



一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

会長 中村 耀

平成30年新年おめでとうございます。年頭に
あたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、北朝鮮の原爆・水爆やICBMの開発に伴う安全保障への不安に加え、それに対するアメリカの対応が見えないことへの不安や、いわゆる「もりかけ」問題に対する政治不信の増大がありました。総選挙の結果、与党が引き続き三分の二を占める結果となり、政治体制は安定し、経済政策も継続する見通しになりました。日本の株価はあがり、バブル崩壊以降の最高値を更新しており、一部では失われた20年と言われた経済不況を脱しているとの評価も出てきています。

しかしながら、中小企業が多い印刷業にとっては厳しい一年であったと思います。東京2020オリンピック・パラリンピック関連のフォローがありましたが、それ以上のアゲントがあったように思います。私も会長に就任し、全国をまわる中で会員の話を聞くことができ、皆さんがいろいろなことを考え、価値を創造していることが分かり、大変良い機会を得たと思っています。

さて、本年は、明るい話題を期待しておりますが、現実的にはまだまだ先が読めないまま、苦しい経営が続くものと、危機感をもっております。東京2020オリンピック・パラリンピックには期待していた向きも多いと思いますが、築地市場の移転問題やその後のスケジュール管理などまだまだ課題が多く、その解決が待たれます。

こうした中ジャグラとしては、財政問題を解決

しながら、事業を推進していくという姿勢は変わらず堅持して参りたいと思います。具体的な事業では、青年部の成長がジャグラの運営や事業の推進にもすでに力を発揮していただいている部分もあるほか、公益事業である「個人情報保護」「DTPスクール」「ジャグラBB」をさらに推進しながら、教育・技術事業、経営革新事業、市場開拓・マーケティング事業、環境事業等を推進して参ります。そのほかDTPのスキルアップを図るコンテストの「ジャグラコンテスト」や会員の皆さまが利用できる年賀状デザインを集めるための「年賀状デザインコンテスト」についても引き続き推進して参りたいと思います。

また、会員増強では、支部長・支部役員・支部会員の皆さまのご協力を得て推進して参りたいと思いますが、会員増強はただ単に会員数を増やすということのみではなく、数が多ければ多いほど「情報」を増やすことにつながりますので、その点についてもお汲み取りいただきますようお願いいたします。

今年6月にはジャグラ文化典福岡大会が開催されます。多くのジャグラを愛するジャグリストの皆さんとお会いできることを今から楽しみにしております。

会員全員が一致団結して、この厳しい環境を乗り越える気概をもって、1社1社の努力と英知によって、必ずや明るい未来が来ることを期待してこの1年を頑張りましょう。皆さまのご隆盛を祈念し、新年のご挨拶と致します。



SPACE-21代表幹事
(株)イデアル/大阪
佐藤元

SPACE-21副代表幹事
(株)オズプリンティング/山梨
小澤孝一郎

SPACE-21幹事/FACE会長
(株)アイト/東京・文京
谷口高広

ジャグラ会長
NS印刷製本(株)/東京・新宿
中村耀

若手ジャグリストが描く 業界の未来とは!

中村会長とSPACE-21幹部3氏による新春座談会

——新年おめでとうございます。本日は中村会長と若手リーダーの新春座談会にお集まりいただき、ありがとうございます。ジャグラや印刷業界の未来について、日頃感じのことを、それぞれのお立場でお話したいと存じます。それでは自己紹介からお願いします。(進行：編集部 守田)

SPACE-21の昨年の活動状況

■中村 ジャグラ会長の中村です。広報委員会の企画による会長と若手リーダーの座談会は、吉岡前会長時代の2015年以來3年ぶり、私が会長になってからは初めてということで楽しみにやってきました。この間、SPACE-21の皆さんと親会である私どもは、事ある毎に接触の場を設け、ジャグラの諸事業についてもいろいろご協力を得ているところですが、本日は改めて若手の皆様方のお考えをお聞きし、明るいジャグラの未来のための参考にさせていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

■佐藤 SPACE-21代表幹事を務めています、大阪の(株)イデアル、佐藤です。よろしくお願いいたします。

■小澤 SPACE-21の副代表幹事を務めております、山梨の(株)オズプリンティング、小澤です。よろしくお願いいたします。

■谷口 東京の青年部FACEの会長を務めております(株)アイト、谷口です。よろしくお願いいたします。

——それでは最初に佐藤さんから、SPACE-21の昨年の活動について、総括していただけますか。

■佐藤 SPACE-21は、昨春4月22日、東京の青年部FACEの企画運営により、全国から40名の参加を得て、総会を開催しました。菁文堂(株)さんの越谷工場と(有)齊藤商会さんの工場見学を中心に据え、総会の議事はバス移動の車中で進行するなど工夫を凝らしましたが、日頃私たちが接することが少ない手帳や箔

押し加工の製造現場を見ることができて、新しい発見がありました。また、夏の8月25～26日には、高知において交流会・幹事会を行いました。当時、高知には青年組織がありませんでしたが、ジャグラ作品展において大臣賞を受賞された地元(株)リーブルの坂本圭一朗さんとお話させていただきながら、何とか若手のコミュニティー組織をつくってもらうことはできないかということで、その後押しという意味もかねて、全国から30名が集まり、高知で幹事会を開催した次第です。この流れを受けて、昨秋9月30日には岐阜で全国協議会を開催しました。岐阜にも青年組織は無いのですが、隣県愛知の青年部である愛青会のご尽力により、他団体である全印工連の方々のご協力も得ながら、岐阜での開催にこぎつけました。こちらもおかげ様で盛況で、これまでの参加実績の倍以上である175名にご参加いただきました。愛青会の(株)クイックス・岡本泰さんの「ジャグラのプレゼンスを、他団体の皆さんにも見せたかった」という熱い思いが存分に伝わった岐阜大会になったと、代表幹事として大変感謝しておりますが、青年部という枠を超えてジャグラのPRとしても、とても評価できるイベントになったと思っております。また11月11日にはジャグラ

の全国協議会に合わせて東京で幹事会を開催することができました。ここでは次の代表幹事や来期事業について大枠を決定しましたので、本年4月スタートのSPACE-21も大きく飛躍すると考えております。——では次に小澤さん、ご自身の活動や山梨の青年部AUCの現状を振り返ってみて、いかがでしたか。
■小澤 佐藤代表の方からSPACE-21の全体的な活動についてお話しいただきましたが、私は山梨という地方にいますので、全国の方々と触れ合えるSPACE-21という場がすごく大切なものになっています。今、地方は本当に厳しくて、山梨も毎年5000人ずつ人口が減っており、官公庁の発注減や高齢化など厳しい経営環境となっています。山梨の青年部AUCの活動については、ほぼ月一回の定例会＝飲み会というのが現状で、もう一步踏み込んだ活動ができていない感じです。そのため、SPACE-21そしてジャグラという全国組織という場で同業者のお話を伺うことが、AUCの活性化にも繋がると考えていますし、また変えてゆくためにはもう少し若手を増やしていかなければならないかなと最近感じております。——次に谷口さん、東京の青年部FACEの一年を振り返っていただけますか。



SPACE-21
昨年の主な活動
この他にも支部単位で
活発に活動しています

4.22 工場見学会&総会(東京)

8.25-26 交流会&幹事会(高知)
円内は高知の(株)リーブル・坂本氏

9.30 全国協議会(岐阜)
円内は愛知の(株)クイックス・岡本氏

11.11 幹事会(東京)

■**谷口** FACE 会長になり2年目。私の任期は今年の5月までですが、毎月約40人以上、定例会に参加してもらっていて、非常に活気ある活動ができていると思います。各種イベントに際しては、東京グラフィックスの会員じゃない方にも、「どうぞ自由にご参加ください」とアピールしています。というのは、「東グラはこういう活動をしていて面白いね。じゃ、入ろうか」というきっかけにしたいなという思いがありまして、関連業種の方などを定例会にお誘いして、我々の活動をPRしています。あと、今年で次世代の会から数えるとちょうど30周年になりますので、イベントを企画中です。

■**中村** 今、皆さんから昨年の活動を総括してもらいましたが、昨春のSPACE-21 総会のときに、文化典の実行委員長である菅原岩手県支部長が僕のところに来て、「いや凄いな。若手がこれだけ集まるということは、素晴らしいことだ」とびっくりしていました。「これからの若い人は絶対期待できますよ。ジャグラの将来は大丈夫だ」ととても感激していました（笑顔）。実際に僕も昨今の皆さんの頑張りぶりには大いに満足しているところですし、これからもジャグラの事業の一翼を担っていただきたいと思っています。

ジャグラへの期待と要望

——それではSPACE-21、若手の皆さんから見て、ジャグラにこうして欲しいという要望や期待をお聞かせください。

■**佐藤** 今、会長がおっしゃったように、ジャグラの事業を担っていく中に答えがあるんじゃないかということですね。SPACE-21の代表幹事になって強く感じたことは、やっぱり全ての幹事の人に何かしらの仕事を行って欲しいということなんです。幹事会に集まったときだけ発言するのではなくて、そこに集まるまでの数か月、きちんと活動してもらいたい。特定の方は凄く活躍されていますが、より一人でも多く、ジャグラという組織のために、少しでもいいから時間を割いてもらいたいのです。皆さんそれぞれ事業家ですので、パワーは持っています。その能力を発揮していただくと、地域の偏りなく、何かを実現できると信じています。そう感じたのは昨年11月のジャグラ全国協議会

で、あの時行ったテーブルディスカッションはとても良かった。それぞれに興味あるテーマのグループに参加して、他人の話聞き、自分も発信することで、何かを実現できる——自分の思いをジャグラに注ぎ込むという感覚を得られました。

——小澤さんはジャグラへの期待というのは何かありますか。

■**小澤** ジャグラの全体像がなかなか見えにくい印象があります。いろいろな活動をされていることは、こちらから情報をつかみにいったり、組合活動に参加すれば分かるわけですが、時間がとれない多くの会員にとって、ジャグラに属しているメリットを実感できない印象はあります。山梨からは樋貝副会長を本部に出させていただいておりますが、近隣の理事の方々に山梨の方に来ていただく機会を設けるとか、そういう工夫があると理解も進み、もっと盛り上がるかなと思いますので、ご足労とは思いますがちょっと足を伸ばしていただけたら嬉しいです。

——本部からの情報というところでは、毎月機関誌『グラフィックサービス』をお届けしていますが、それだけでは足りないですか。

■**小澤** もちろん私は楽しみにしていますし、いい情報をいただいていると思いますが、それだけでは元気の出ない会員さんもいますので、やっぱり直接人と人が会うことが重要なかなと個人的には思います。

——では次に谷口さん、いかがでしょうか？

■**谷口** 青年部の幹事をやらせていただいて、日々思うことは、表面的な情報というのはタイムラグはあるかもしれませんが大体は全国にも伝わっていると思います。ただ、機械の詳しい運用方法とか経営面での悩みや工夫とか、そういう一歩踏み込んだ情報は、やはり直接会って話さないと分からないので、今の小澤さんのご意見と同じ考えですね。ですから青年部の活動を通じて、地方の仲間の仕事ぶりを見せていただいたり、苦労話を聞いたりできることは非常にありがたいなという感想です。

——今の若手のご発言に対して中村会長から何かありますか。

■**中村** 私が会長になってから運営基盤戦略会議という場を設けて、地協の活性化や連帯感の強化を図っているところですが、まだまだジャグラの諸事業につい

て伝えきれていないところもあるというご意見を頂戴し、より一層努力の必要性を感じたところです。ニッケイビルのテナントが一フロア入居がなくて、予算的にも厳しい局面に立たされましたが、幸い今年2月から入居が決まり、昨年末には保証金も入りましたので、地協への補助金を復活させて活性化に役立てていただきたいと考えています。それで私からの要望としては、ジャグラの諸会議に出席された役員にお伝えした情報を、きちんと見える形で会員さんに伝えて欲しいということです。もちろん本部としても機関誌などを通じて随時お伝えしますが、皆さんの現場レベルにおいてもそういうことを担っていただきたいのです。ファクスでもいいし、郵便でもいいし、メールでもいいので、皆さんの手をかけた情報を伝えて欲しい。それらに要する費用もある程度はお支払いできるようなシステムになればいいなと思っています。

あと、理事や支部長等の役員の方には組織拡大を常に意識していただきたいと思っています。会員拡大にはこれからも力を入れていきます。

今年の3月決算でジャグラの借入金の残高が9000万円程になります。毎年2000万円ずつ返していけば4年ちょっとで完済できるので、その後、返済に費やしていたお金をどのような事業に使うのか考えるべき時期にそろそろ入ります。だから、今は本当に厳しいけれども、その種まきのつもりだと思って頑張りたいんです。そういった将来的な視野の中には事務局の若返りも含まれますが、専務や常務以下、何名かの職員もあと何年かで定年を迎えるわけだし、そのときのためにも皆さん若手の方が、このジャグラをどうして行きたいのかというビジョンを持って種まきして欲しいのです。そういったことまで考えなきゃいけない時期に、もう来ていると思うんですよ。

■**佐藤** スマートフォンが普及してから10年位たった中で、例えばホームページなどをどれだけの会員さんがお持ちなのかとか、自社ドメインをどれだけの会員さんがお取りになっているのかとか、サーバーやクラウドサービスを利用されているのかといった部分を見ると、まだまだ弱いと思うんですね。そういったところを、ジャグラの事業として会員サポートできないか——NTTやサーバー会社からどんと借り受けて、個別にドメイン発行することで、ジャグラにはお金が



入ってきますし、セキュリティとか個人情報保護の観点から見ても大いにメリットがあるのではないかと、2年ほど前からいろいろ考えているところです。

今年の抱負

——それでは今年の抱負をお聞かせください。

■**谷口** 我々は印刷業ですが、もっと広い意味で情報加工業の一員として、今後どうやってやっていくのか、紙だけではなく他のメディア、インターネットとかいろいろなものに情報を活用する時代が、すっかり浸透してしまっていますので、自分としては、その辺の知識とか見聞をもっとより広げていきたいなと思っています。あと最初に申しましたが、今年、次世代の代から数えて30周年を迎えますので、まずそのイベントを無事終わらせたいというのが当面の目標です。

■**小澤** 谷口さんがおっしゃったように、本当に社会が大きな変化を迎えている時期だと実感しています。インターネットを初め、最近ではAI等、いろいろな技術が進展する中で、我々はどうやって価値をお客様に提供するのかということが、改めて問われていますので、今までやってきたことだけではなく、新しい取り組み、ジャグラだからこそのフットワークの軽さ、そういったものを活かして、新しいサービスや商品を創っていかねばいけないなと思っています。また、今年9月には、山梨でSPACE-21の全国協議会が開催されますので、より多くの人に当地に来ていただいて楽しんでもらいたいと思っています。

■**佐藤** 自社としては、IT促進などを掲げていまして、自社クラウドの立ち上げやホームページの強化、あとはセールス、物販ですね。企画商品を開発して販

売るとか、制作部を、従来のDTP部門からウェブサイトをにつくったり、システム構築したりするチームと、あと企画制作のチームと、少人数ながら2、3人で、アメーバのようにポコポコ生み出すような、そういった組織改革を進めておまして、これを進める中で、何が一番大事なのかという、やっぱり人だと感じているところです。私は40代ですが、やはり20代の人間としゃべりますと、ちょっと自分がずれているなあと感じるんですね。彼らの働きたいと思う職場のイメージと、私が考える職場のイメージがもう一致しなくなっているんですね。去年からそういったテーマに取り組んでおり、例えば就業時間なども柔軟に時短したり、逆に延ばしたり、休みも週3日とってみたり、そういったことができるような会社になりたいと試行錯誤している状態です。事業創出自体も、経営者一人で考えて、これをやろうという時代ではなくなってきていると思うんですね。皆が、それぞれのチームが集まって、こういったことをやろう、こういったことをやりたいという社風ですね。そのためにも、経営者は情報をより発信して、等しく理解してもらえようような、そういった会社にしていきたいなど。そのあたりを変えていかなくては、次世代の人材が集まる場所に、会社にならないと考えています。

■中村 今の話はすごくいいね。時代に合わせて会社の組織も柔軟に変えてゆく、時代に合わせて変化する。そうすると、需要の創造にもつながるし活性化もするだろうし、すごくいい取り組みだね。

■佐藤 同じようなイメージで、大阪であれば平成会、そして全国のSPACE-21ですね。人が自由に集まって、自分の思いをきちっと発信できる場でありたい。皆さんそれぞれ、本当にいろいろ考えられていますの

で、その思いを発信できる組織にしていくことができれば、会として必ず活性化すると思います。そういった気持ちを次の執行部に託していければ、先ほど会長がお話しされていたように、5年後のジャグラに生きてくると思うんです。漫然と過ごすのではなくて、もうSPACE-21というのは、ジャグラの次代を担う準備機関だと思うので、志高く、何をやっていくのかということ、一人ではなくて皆で、そしてまだ見ぬ新しい会員の皆さんと考えていく、そういう組織でありたいと思います。

——では中村会長お願いします。

■中村 今年の抱負の一番は、まず会員の方たちが自社の健全な財政、そして技術もきちんとして、とにかくつながっていくこと。僕が一昨年の全国協議会の際、「想像してください。何かを見たら考えて、これから何ができるのか、とにかく頭の中を自由に想像して欲しい」と言いました。自社の強みをきちんとして理解して、その強みの上に新しいことを乗せていくような、そんなことを常に考える経営者になっていただきたいと思うんです。現実には事業承継がうまくいかない、営業戦略がうまくいかず退会した会社もあると思いますが、新しいことに挑戦して生き残りを図って欲しい。経済産業省中小企業庁のデータでは240万社ある中小企業が10年後には120万社に半減するとの試算もあります。

それともう一つ、皆さんに言いたいのは、自分の仕事に自信や夢を持ってもらいたい。そこがなければ始まらないのですから。

——お時間となりました。本日はありがとうございました。

SPACE-21 NEWS

SPACE-21 石川がドローンセミナーを開催！

ジャグラ石川県支部の青年部「SPACE-21 石川」が、2月2日（金）、金沢勤労者プラザにおいて「ドローン業界の現状と、活用に向けて～異業種分野で地域活性化へ挑戦～」と題したセミナーを開催する。

×

講師は(株)くまがい印刷（秋田）の熊谷健司専務。同氏が昨年11月のジャグラ全国協議会で行ったドローンの事例発表がとて好評であったことから、石川県での開催となったもの。熊谷専務自身も秋田県の青年部・点睛会のメンバーであるが、こうした新技術の導入や興味はやはり次世代の印刷人ならではということだろう。

注）本誌発行時点においてセミナー申込みは終了しています

月刊
グラフィックサービス
No.794
2018
01

迎春



2018年誌上新春名刺交換会

月刊
グラフィックサービス
No.794
2018
GS01

NS PRINT & POSTPRESS
DESIGNからでも 印刷からでも もちろん製本も

謹賀新年

NS 印刷製本 株式会社

代表取締役会長 中村 耀 代表取締役社長 中村 盟

〒162-0041
東京都新宿区早稲田鶴巻町 568
TEL 03-3203-5421 FAX 03-5273-0527
URL <http://www.ns-p.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

代表取締役社長
辻 重紀

本社 〒100-0001
東京都港区西麻布一丁目25番地30号 富士フイルム西麻布ビル
TEL 03-4190-0001
FAX 03-4190-0000
<http://fgs.fujifilm.co.jp>

株式会社 ショーワ

代表取締役社長
伊澤 秀春

〒101-0065
東京都千代田区西神田二丁目八
TEL 03-3263-6401
FAX 03-3263-6409

RMGT リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

代表取締役社長
広川 勝士

〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800-2
Tel. (0847) 40-1600 Fax. (0847) 40-1601
<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

株式会社 モリサワ

代表取締役社長
森澤 彰彦

〒556-1002
大阪市浪速区敷津東二丁目三十五
電話 06-6649-1251

株式会社 モトヤ

代表取締役社長
古門 慶造

〒542-0081
大阪府中央区南船場1-10-25
TEL 06(62661)1931
FAX 06(62661)1930

ジャグラ作品展、募集を開始!

ジャグラ作品展委員会

応募締切は本年**3月末日**必着

昨年1～12月までに完成した作品が対象です!

ジャグラ作品展委員会(岡澤誠委員長)は、今年も下記のとおり『ジャグラ作品展』を実施することにし、このほど募集を開始します。

×

ジャグラ作品展は、グラフィックサービス工業の技術力向上や、マーケットへのアピールを目的として開催するもので、昭和41年、ジャグラの前身である日本軽印刷工業会が社団法人を設立した年より開催されている歴史あるコンクールです。皆様のご応募をお待ちしています。

作品展の概要

1. 目的

この催しは、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会が全国規模で実施するもので、応募のあった印刷作品の技術評価を通じ、業界の技術水準、さらに将来に向け切磋琢磨すべき技術課題等を探り、業界における技術向上意欲の高揚を図ることを目的とする。

2. 募集対象

平成29年1月から12月までに完成した作品

3. 募集期間

平成30年1月1日～3月末日

4. 審査

1) 第一次審査

- ①期日:平成30年4月上旬
- ②審査員:弊社コンクール委員

2) 第二次審査

- ①期日:平成30年4月上旬
- ②審査員:弊社コンクール委員、学識経験者

3) 第三次(最終)審査

- ①期日:平成30年4月中旬
- ②審査員:経済産業省、厚生労働省、全国中小企業団体中央会、日本印刷産業連合会、日本印刷技術協会、日本印刷機材協議会、日本プリンティングアカデミー、業界紙各社、学識経験者、弊社コンクール委員長(以上、予定)

4) 審査方法

各審査委員が審査基準に基づいて採点したものを集計し、総合得点の得点数に応じて順位を決める。

5) 審査基準

- A. 文字組版:文字揃え、欠け文字の有無、可読性、組版ルールなど
- B. 図版:罫の処理、作図技術、貼り込みの曲がりなど
- C. 写真:調子再現、濃淡、むら、トリミングなど
- D. 色調:色むら、変・退色など
- E. デザイン:斬新性、造形性、調和、アイデア、配色など
- F. レイアウト:読みやすさ、版面の適否、図版と文字の配置、全体の調和など
- G. 印刷:刷りむら、用紙の適否、インキ発色、見当性など
- H. 装丁製本:造本体裁、開き具合、製本仕上げなど
- I. 開発開拓:アイデア性、新技法、オリジナル性、需要拡大性、新市場開拓、拡張印刷
- J. オンデマンド:デジタル処理特性
- K. インクジェット:インクジェット適性

6) その他

応募作品は右表に従い、委員会にて分類し、審査を行います。



左から昨年度 経済産業大臣賞の(有)一粒社 & (株)システムジャパン、厚生労働大臣賞の川越印刷(株) & (株)グッドクロス の作品

優秀作品への各賞

経済産業大臣賞(計二点)、経済産業省商務情報政策局長賞(計二点)、厚生労働大臣賞(計二点)、厚生労働省職業能力開発局長賞(計二点)、全国中小企業団体中央会会長賞(計四点)、そのほか、日本印刷産業連合会会長賞、日本印刷技術協会会長賞、日本印刷機材協議会会長賞、日本プリンティングアカデミー学校長賞、報道各社賞、ジャグラ会長賞ほか

(以上、予定)

入賞の発表および表彰式

- 1) 入賞発表:機関誌『グラフィックサービス』に掲載
- 2) 表彰式

- ①期日:平成30年6月2日(土)
- ②場所:ホテル日航福岡

申込書には、**評価して欲しいポイントをわかりやすく書きましょう!**

作品の審査は3回行われ、公平かつ厳正な審査に努めています。ある審査員経験者から、「これまでの経験では、申込書に評価して欲しい点を記入している作品が、上位入賞を果たしている」とのアドバイスがありました。

申込書にアピールポイントが書ききれない場合は、別紙添付でも構いません。簡潔かつわかりやすく記入してください!

次ページの申込書でご応募ください!

ジャグラのホームページからもWORD形式の申込書がダウンロードできます
<https://www.jagra.or.jp>



応募作品の分類基準

A. 出版印刷物部門

【対象作品】

単行本、文芸書、教科書、学術参考書専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、定期刊行物、復刻版など。

いわゆる出版物と言われる印刷物。

B. 宣伝印刷物部門

【対象作品】

カタログ類、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR誌、各種案内書など。

宣伝の要素の強い印刷物で、主としてカラー印刷物や凝った印刷物。

C. 業務用印刷物部門

【対象作品】

研究報告書、文集、記念誌、機関誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、大会等資料、会報、年報、リスト、パーソナルユース(年賀状、レターヘッド、ハガキ、名刺など)など。

斯業が主流としてきた印刷物。また商業印刷物のうち、モノクロ印刷物も含む。

D. 開発開拓部門

【対象作品】

新商品、新機器・新手法・新技法による作品、販促成功例、活路開拓・需要拡大商品、未来ビジネスへの足掛かり商品、自社企画による印刷物、印刷物以外の商品、間接的に生産された印刷物、ソフト・サービスCD-ROM等のマルチメディア。

拡張印刷を目指す技術・商品の開発・新技術の開発、営業要素が強い作品(全工程外注の作品)・サービスなど。

作品展出品申込書 ※複数出品する場合はコピーしてお使い下さい

発注者に出品の了解を得て、ジャグラ作品展に申し込みます。

作品名		担当者	
会社名		支 部	
住 所		電 話	

(任意) 部門の希望があれば○印をしてください(希望通りにならない場合があります)

A	B	C	D

〔1〕印刷工程について該当する欄に○印をして下さい。(書ける場合にご記入下さい)

部 数	部		POD 出力	1.インクジェット	機種名	1.自社
納 期	日数			2.その他のPOD		2.外注
編 集	1.自社	2.外注		3.得意先		3.得意先
デザイン	1.自社	2.外注	3.得意先	判	B2以上 B3以下	1.自社
組 版	1.DTP(ソフト)	1.自社	印刷	色数	1色 2色 4色 5色以上	2.外注
	2.図版(ソフト)	2.外注		機種	()	3.得意先
編 集	3.写真(ソフト)	3.得意先	製本・加工 備 考	1.自社 2.外注 3.得意先		
	専用機(機種名)					

〔2〕審査にあたって特に評価して欲しい項目に○印をし、または記入欄に記入して下さい。 **記入必須**

項目(○印をして下さい)	自由記入欄
A.文字組版(DTP) B.図版 C.写真 D.色調 E.デザイン F.レイアウト G.印刷 H.装丁製本 I.開発開拓 J.オンデマンド K.インクジェット	

※以下は事務局記入欄です。

A	B	C	D



2018 ジャグラー文化典 福岡大会

～博多に来ちゃんしゃい 待とうけんね～

ジャグラー文化典福岡大会 運営委員長 松永英明
 実行委員長 石井謙二



6月1日(金) 記念ゴルフコンペ/芥屋ゴルフ倶楽部
 ウェルカムパーティー/ホテル日航福岡
 6月2日(土) 定時総会・文化典式典・記念懇親会/ホテル日航福岡
 ファミリーツアー【半日コース】/世界文化遺産・宗像方面
 6月3日(日) オブショナルツアー【日帰りコース】/太宰府～柳川～八女
 6月3日(日)～4日(月) オブショナルツアー【宿泊コース】/雲仙～島原～天草(泊)～熊本～八女

ジャグラー副会長
 ジャグラー東北地方協議会 会長
熊谷正司
 (株)くまがい印刷
 〒010-0001
 秋田市中通6の4の21
 TEL 018(8)3333
 FAX 018(8)3333
 07552

ジャグラー東北地方協議会
 理事
大橋邦弘
 〒984-0006
 仙台市若林区今泉2の15の51
 TEL 022(2)89(株)大橋印刷商会内
 FAX 022(3)88(5)6673

ジャグラー中国地方協議会
 会長
宮崎 真
 〒730-0000
 広島市西区商工センター7の5の33
 TEL 082(2)77(株)ニキプリント内
 FAX 082(2)78(6)9554

ジャグラー四国地方協議会
 会長
中越忠男
 〒780-0040
 高知市神田638の24 (株)伸光堂内
 TEL 088(8)334(3)4334
 FAX 088(8)334(3)4034

ジャグラー北海道支部
 支部長
渡辺辰美
 〒070-0033
 旭川市3条通4丁目右1号
 TEL 0166(2)6(株)あいかわプリント内
 FAX 0166(2)6(2)3988

ジャグラー群馬県支部
 支部長
中島 博
 〒371-0024
 前橋市表町2の6の5 (株)中島フリン
 TEL 027(2)21(ト)商会内
 FAX 027(2)21(4)3448

ジャグラー千葉県支部
 支部長
尾形文貴
 〒261-0002
 千葉市美浜区新港213の5 (株)みつわ内
 TEL 043(2)42(4)849
 FAX 043(2)45(7)2339

ジャグラー神奈川県支部
 支部長
岡澤 誠
 〒210-0846
 川崎市川崎区小田五十二七七一五
 電話 044(3)33(二)七八七
 FAX 044(3)33(七)七八七

富士ゼロックス株式会社
 執行役員
麻生修司
 〒106-0002
 東京都港区六本木3の1の1
 六本木タワーキューブビル13F
 TEL 03(3)5584(8)4444
 FAX 03(3)5584(3)810

SCREEN
 代表取締役社長
木谷 活
 Katsu Kitani
 株式会社メディアテクノロジー ジャパン
 〒135-0044 江東区越中島 1-1-1
 ヤマタネ深川1号館
 TEL 03-5621-8266
 FAX 03-5621-8378
 www.mtjn.co.jp

ジャグラー東海地協
 会長
伊藤政美
 〒448-0806
 刈谷市松栄町2-15-9 (松栄印刷内)
 TEL: 0566-27-6667 FAX: 0566-22-9531
 E-mail: office@shoeiprint.com



JIS Q15001 2017年版が12月に大幅改正

改正個人情報保護法への対応、ISO共通要素を採用

プライバシーマーク付与に係る JIS Q15001 が昨年末の 12月20日に改正されたので、その概要をまとめておきます。なお JIS の要求事項については、(一財)日本規格協会が発行した JIS Q15001:2017 を確認してください。

×

規格文書の構成変更

規格は本文と付属書 A～D で構成された、全体で 66 頁に及ぶものとなった。2006 年版は解説まで含め 32 頁だったので倍のボリュームである。そして、マネジメントシステム共通構造を採用したことで特に ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム ISO Q 27000:2014) の要求事項との近接性が図られることになった。また、昨年 5 月 30 日に改正された個人情報保護法に対応することになった。用語及び定義を改正法に合わせると共に追加された要求事項がある。

ISO の共通テキストに合わせて 10 章立ての構成に変更された。これは ISO では規格文書の基本構造を統一するために、2012 年以降に制定、改正されるマネジメントシステム規格は原則として、「ISO-MS 規格の共通要素」を採用することを義務付けられたことによる。

新 JIS では本文と付属書 A～D という構成になった。

- ◎「付属書 A」要求事項：管理目的及び管理策 2006 年版とほぼ同内容
 - ◎「付属書 B」(参考) 管理策に関する補足⇒従来の解説に相当する内容
 - ◎「付属書 C」(参考) 安全管理措置に関する管理目的及び管理策 付属書 A と関連
 - ◎「付属書 D」(参考) 2006 年版と規格本文との新旧対比表
- プライバシーマーク付与に係る部分は本文と付属書 A が「規定」とされる(必須)。付属書 C は、付属書 A：安全管理措置の参考と位置付けられる。

改正個人情報保護法及びガイドライン対応

改正法では、新たに①匿名加工情報(ビッグデータ)、②国外にある第三者への提供の制限③第三者提供におけるトレーサビリティの確保等、必要な条項が、「付属書 A」の中で追加された。加えて、個人情報保護委員会から 4 つのガイドライン(通則編、外国にある第三者への提供編、第三者提供時の確認・記録義務編、匿名加工情報編)が公表され、これらの内容への対

応も求められる。

次に用語については、「事業者」が「組織」に、「リスクの認識、分析」が「個人情報保護リスクアセスメント」、「機微な個人情報」が「要配慮個人情報」、「開示対象個人情報」が「保有個人データ」、「教育」が「認識」、「点検」が「パフォーマンス評価」、「運用の確認」が「監視、測定、分析及び評価」、「代表者による見直し」が「マネジメントレビュー」というように置き換えられた。

規格本文の内容

プライバシーマーク付与事業者が驚かれる点は、おそらく用語ががらりと変わったことだろう。ISO の共通要素に準拠したため、項番の名称においても、組織、利害関係者、トップマネジメント、力量、文書化した情報、プロセス、パフォーマンス、測定、分析モデル、属性、基本測定値、導出測定値、事象、起こりやすさ、測定値、測定の関数、測定方法、対象物、尺度、脅威、ぜい弱性、リスク所有者、リーダーシップ、リスク及び機会、個人情報保護リスクアセスメント、支援、力量、マネジメントレビューといった要求項目で使われる用語ではないだろうか。詳細の記載は省くがこれらの用語は ISMS と相対している。

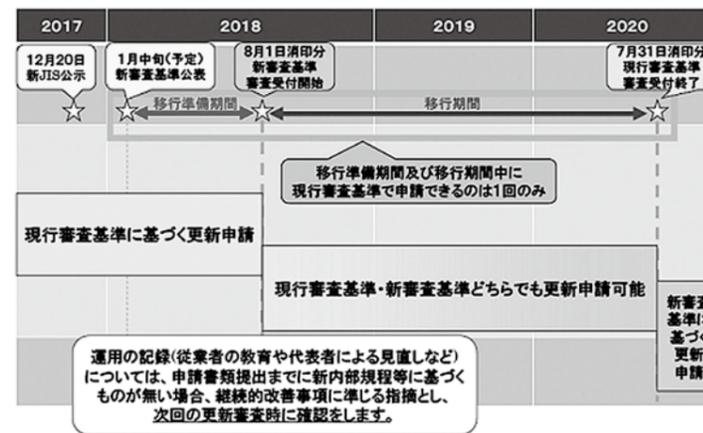
付属書 A の概要

プライバシーマーク付与の基本的な要求事項、従来の PMS 諸規程はこの付属書 A に準拠していると考えていい。2006 年版との違いは項番が異なるため、従前の諸規程の細分箇条を変更しなければならない。付属書 A は表形式となっており A.3.1 から A.3.8 までであるが、ここでは項番名称を記すに留める。

- A.3.1 一般
- A.3.2 個人情報保護方針(内部向け、外部向け)
- A.3.3 計画(個人情報の特定、法令、国が定める指針その他の規範、リスクアセスメント及びリスク対策、資源、役割、責任及び権限、内部規程、計画策定、緊急事態への準備)
- A.3.4 実施及び運用(運用手順)

◎取得、利用及び提供に関する原則：利用目的の特定、適正な取得、要配慮個人情報、個人情報を取得した場合の措置、本人から直接書面によって取得する場合の措置、利用に関する措置、本人に連絡又は接触する場合の措置、個人データの提供に関する措

～JIPDECが示したプライバシーマーク付与事業者の更新の移行スケジュールと注意事項～



- 注意事項
- ※移行期間は、新審査基準・現行審査基準どちらの審査を受けることも可能。
 - ※移行準備期間・移行期間に現行審査基準で審査を受けられるのは1回のみ。2回目は新審査基準による審査となる。
 - ※移行のための特別な審査ではない。通常の更新審査の際に、どちらの審査基準で審査を受けるかのスケジュールとなる。

※審査を受けたことによって、有効期間の日付が今までと変更されることはない。
 ※移行期間中に、現行審査基準で審査を受けた場合は、次回更新審査時まで新審査基準に対応していただくよう、継続的改善に準じる指摘をさせていただきます。移行期間中に合併分社等が行われる場合にはジャグラに問い合わせ願いたい。

●新審査基準への移行について

- ①新しい審査基準(新審査基準)公表
本年1月中旬(予定)
- ②移行準備期間
本年1月中旬(予定)～2018年7月31日
- ③新審査基準による審査の申請受付開始日
原則本年8月1日(当日消印有効)から
- ④移行期間
本年8月1日～2020年7月31日
- ⑤現行審査基準による審査の申請受付締切日
原則2020年7月31日(当日消印有効)まで

- 置、外国にある第三者への提供の制限、第三者提供に係る記録の作成など、第三者提供を受ける際の確認など、匿名加工情報
 - ◎適正管理：正確性の確保、安全管理措置、従業員の監督、委託先の監督
 - ◎個人情報に関する本人の権利：個人情報に関する権利、開示等の請求等に応じる手続、保有個人データに関する事項の周知など、保有個人データの利用目的の通知、保有個人データの開示、保有個人データの訂正、追加又は削除、保有個人データの利用又は提供の拒否権、認識
 - A.3.5 文書化した情報(文書化した情報の範囲、文書化した情報(記録を除く)の管理、文書化した情報のうち記録の管理)
 - A.3.6 苦情及び相談への対応(苦情及び相談への対応)
 - A.3.7 パフォーマンス評価(運用の確認、内部監査、マネジメントレビュー)
 - A.3.8 是正処置(是正処置)
- 以上が、大項目で各々詳細な要求項目が列挙されている。

●付属書 B、C について

管理策に関する付属書 B は、「参考」の形で管理策に関する補足が付属書 A の項番に従って説明されている。付属書 C は、「参考」の形で付属書 A の安全管理措置として説明されている。

◎安全管理措置に関する管理目的及び管理策(項目)

- C 5. 個人情報セキュリティのための方針策
- C 6. 個人情報セキュリティのための組織

- C 7. 人的資源のセキュリティ
- C 8. 資産の管理
- C 9. アクセス制御
- C 10. 暗号
- C 11. 物理的及び環境的セキュリティ
- C 12. 運用のセキュリティ
- C 13. 通信のセキュリティ
- C 14. 個人情報システムの取得、開発及び保守
- C 15. 供給者関係
- C 16. 個人情報セキュリティインシデント管理
- C 17. 事業継続マネジメントにおける個人情報セキュリティの側面
- C 18. 遵守

×

さて、上記のように 2006 年版からの改正は付属書 A についての内容に大きな変化はないとされているが、具体的にプライバシーマーク付与事業者に係る自社の PMS 改正作業は簡単ではないと推測される。また、プライバシーマーク付与適格性審査における審査内容も変更は必至である。JIPDEC はもとよりジャグラとしても今後 2017 年版移行へあたっての情報提供は行っていく。近々、審査基準を公表し、セミナー等の開催による啓発、新ガイドブックの発行も予定している。いずれにせよ、10 年振りとなる JIS 大幅改正への対処・移行をスムーズに行って載きたい。一層の個人情報保護と利活用の側面、情報セキュリティ面の強化が法規制を伴って求められていることから、私たち情報の処理・加工に携わる一員としての責務と捉え、今回の改正に臨んで載きたい。

文：ジャグラプライバシーマーク審査センター長 斎藤成

ジャグラー長野県支部
 支部長 佐野修一
 会員一同

TEL 026(22)7(0)3333
 FAX 026(22)7(0)3333

ジャグラー愛知県支部
 支部長 神山明彦
 会員一同

TEL 052(66)5(1)118
 FAX 052(66)5(1)054

ジャグラー大阪府支部
 大阪府グラフィックサービス協同組合
 理事長 岡達也
 会員一同

TEL 06(6)22(4)8512
 FAX 06(6)22(4)8512

ジャグラー兵庫県支部
 支部長 岸徹
 会員一同

TEL 078(34)22(4)6
 FAX 078(34)22(4)6

ジャグラー愛媛県支部
 支部長 森孝
 会員一同

TEL 079(0)00(3)334
 FAX 079(0)00(3)334

株式会社 双文社
 代表取締役 今井茂雄

TEL 03(358)3311
 FAX 03(358)3311

株式会社 サンライズ
 代表取締役会長 添田隆男
 代表取締役社長 添田寛

TEL 03(358)3311
 FAX 03(358)3311

「伝える」の最上級へ。
 ISO 9001・14001・27001
 JIS Q 15001 認証取得
 野毛印刷
 代表取締役会長 金子徹
 代表取締役社長 森下治

TEL 045(252)2511
 FAX 045(252)2511

創文印刷出版株式会社
 代表取締役 熊谷晴樹

TEL 022(22)0181
 FAX 022(22)0181

長瀬印刷株式会社
 代表取締役 坂本和久

TEL 026(22)0181
 FAX 026(22)0181

有限会社 中溝グラフィック
 代表取締役 岡澤誠

TEL 044(33)7787
 FAX 044(33)7787

有限会社 小池印刷
 代表取締役社長 伊藤文雄

TEL 026(22)6284
 FAX 026(22)6284

ダイヤモンド株式会社
 代表取締役社長 星野浩之

TEL 03(356)0000
 FAX 03(356)0000

コニミノルタジャパン株式会社
 PPG事業本部
 本部長 荒井純一

TEL 03(633)1199
 FAX 03(633)1199

共立速記印刷株式会社
 代表取締役会長 吉岡新
 代表取締役社長 笹井靖夫

TEL 03(323)4511(代)
 FAX 03(323)4511

DESIGN&PRINT
 株式会社 興栄社
 代表取締役社長 菅野 潔

TEL 03(368)2977
 FAX 03(368)2990

西武写真印刷株式会社
 代表取締役社長 青木 滋

TEL 03(555)4903
 FAX 03(555)4903

有限会社 ドウ・プリン
 代表取締役社長 笹岡 誠

TEL 03(644)3000
 FAX 03(644)3000

株式会社 ジェーピークリエイティブ
 代表取締役 野田晃司

TEL 03(644)3000
 FAX 03(644)3000

株式会社 グッドクロス
 代表取締役 原田大輔

TEL 03(644)2200
 FAX 03(644)2200

株式会社 荒川印刷
 代表取締役会長 荒川幹夫
 代表取締役社長 荒川壮一

TEL 03(644)2200
 FAX 03(644)2200

株式会社 北斗プリント社
 代表取締役 谷川 聡

TEL 03(644)2200
 FAX 03(644)2200

株式会社 アイデア
 代表取締役社長 佐藤 元

TEL 06(553)0002
 FAX 06(553)0002

(株)登プリント社
 代表取締役社長 岩下 登

TEL 06(672)8788
 FAX 06(672)3321

株式会社 ティー・エム・ピー
 代表取締役会長 高橋 直裕
 代表取締役社長 高橋 強裕

TEL 079(29)1150
 FAX 079(29)1150

JaGra
 社団法人 日本グラフィックサービス工業会
 本部事務局一同

日経印刷株式会社
 代表取締役社長 吉村 和敏

TEL 03(675)8100
 FAX 03(326)35814



GP認定制度について②

CO₂排出量削減はエネルギーの無駄をなくし、経済効果を生み出す！

(株)興栄社(東京・城東)

ジャグラ副会長(前環境委員長) 菅野 潔



「環境対応は今や印刷品質の一部です!」。先月号からグリーンプリンティング認定制度(以下「GP認定制度」)の重要性を解説している本連載。第二回目はCO₂の削減による経済効果についてまとめてみました。

×

国際的なCO₂削減の取り決め

CO₂(二酸化炭素)の排出削減の目的は、温室効果ガスを減らすことにあります。温室効果ガスは地球温暖化に影響するもので低炭素社会の実現に向けた課題となっており、1997年12月に京都で開催された第3回気候変動枠組条約締約国会議(COP3)で採択され、先進国のみ排出削減の目標が設定されました。その際、日本政府は1990年比6%の排出削減を義務付けられました。

最近では2015年のパリ協定ですべての国に排出削減の目標が設定されましたが、新興国では経済成長により排出量が増加している状況にあります。そのため、パリ協定ではこれらの実態に合わせ、200年前の産業革命前からの気温上昇幅を2℃あるいは1.5℃以内に抑えることを目標としています。

このように、CO₂の排出量削減は生産活動を進める我々にとって重要な命題である一方、捉え方によってはエネルギーの利用量を少なくする工夫により、経済効果を生み出すことが可能になるという考え方もあります。地球温暖化防止といった大枠にとらわれるのではなく、自社の利益追求といった面から行動することから良い結果が得られると思います。

どこからCO₂が排出されるのか

CO₂は、人が生活や生産活動をする際に使うエネルギーを作る過程で排出されるもので、そのエネルギーを利用する我々が直接排出しているというものではありません。

そのエネルギーの元になるものには「電気」「ガス」「LPガス」「ガソリン」「軽油」「灯油」「水道」等があり、このエネルギーを作る過程で排出されるものが問題となっているCO₂なのです。

エネルギーとCO₂の関係

それぞれのエネルギーを作るときに排出したCO₂が、いったいどの位なのかというのが表1(2007年公表の数値を利用し換算)です。

表1を元に計算した例として、A社の年間エネルギー使用量から排出されるCO₂の量とエネルギー使用金額の関係を計算したものが表2です。

A社の場合、この表からいえることは、環境面において電気(※1)の使用量を減らす工夫が重要だということです。また、経営面でも※2~※5を比較すると、電気(※2)の削減は利益向上の可能性に繋がることが分かります。もちろん集計をとることによって企業間の違いはありますが、このような集計をとることは、環境面・経営面に非常に意味のあることだと思います。

電気代のコスト削減の工夫としては、従来の蛍光灯をLEDに交換することや、基本料金を抑えるためのデマンドコントロールの導入、消灯の習慣等が考えられます。困りに電気・ガス・水道は契約をしているそれぞれの企業に問い合わせをすれば、過去の使用量を教えてもらえます。

CO₂排出量計算ファイルをご用意しています

以上がCO₂排出から見た環境面と経営面への影響ですが、ジャグラ環境委員会ではジャグラホームページ(<https://www.jagra.or.jp/download/>)から「CO₂排出量計算ファイル(Excel xls形式)」をダウンロードできるようにしていますので、是非ご利用ください。

表1: 使用エネルギーのCO₂換算

エネルギーの種類	使用エネルギー		CO ₂ 排出量 (単位: t-CO ₂)
	使用量	単位	
電気(東京電力の場合)	1	kWh	0.000423
ガス(都市ガスの場合)	1	m ³	0.002201
LPガス	1	Kg	0.002624
ガソリン	1	L	0.002254
軽油	1	L	0.002543
灯油	1	L	0.002417
水道	1	m ³	0.000580

表2: 使用エネルギーから分かる実際のCO₂排出量と金額の関係(A社の事例)

エネルギーの種類	年間使用エネルギー		年間CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	年間エネルギー 使用金額(円)	t-CO ₂ 当たりエネルギー 使用金額(円/t-CO ₂)
	年間使用量	単位			
電気	58,219	kWh	※1 24.627	※2 1,726,608	70,110.37
ガス	77	m ³	0.169	※3 18,420	108,994.08
LPガス	0	Kg	0		
ガソリン	3,703	L	8.347	※4 374,601	44,878.52
軽油	0	L	0		
灯油	0	L	0		
水道	189	m ³	0.110	※5 47,539	432,172.73
合計	-	-	33.254	2,167,168	65,170.14

ジャグラ環境委員会では、会員企業がGP工場認定を取得するよりも前に、環境意識を持って企業の社会的責任を果たしつつ、その結果としてGP工場認定取得に繋がるこ

とを期待していますので、まずは環境対応に興味を持ち、簡単にできることから是非チャレンジしてみてください。(つづく)

あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

特長1 掛金が割安です(例: 30歳男性、1口290円/月)

特長2 死亡時保障額は最高1600万円

特長3 事故による入院もワイドに保障

特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます

特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局・酒井まで

tel.03-3667-2271

フォト商材に商機を見出す ワン・トゥ・ワンの生産体制を確立

～オンデマンド印刷特化の生産体制～

事例③：(株)YC・ドキュメント(東京・中央)

ジャグラ教育・技術委員会(熊谷正司担当副会長/宮崎真委員長)では、会員企業で導入の進むデジタル印刷機活用のため、POD ワーキンググループ(原田大輔リーダー)を組織して調査研究を進めています。その活動の一環として、本誌上においてPOD 活用先進企業の紹介をしています。第三弾は(株)YC・ドキュメントさんの活用事例です。

(取材・文：ニューブリテン印刷(株)・菅野孝市専門委員)

×

1人1冊、極小ロットのフォトブック

(株)YC・ドキュメントはデジタル印刷機を中核とした生産体制を敷いている。1990年代の半ばに富士ゼロックスのモノクロPDO『DocuTech 135』を導入し、デジタル印刷ビジネスを開始。以降、オフセット印刷機に触れないまま、印刷事業を拡大してきた。同社は1969年、複写業として創業。製造業や建設業などに図面を提供していた。時代の変遷とともに業態を変化させ、現在ではエフ・アイ・エス、共同写真、総合事務サービスの3社とともに従業員約330名のC&Rグループを構成。複写業にとどまらず、人材派遣や各種受託業務まで手掛ける。

同社取締役新規事業推進室の朝香貴裕氏は「お客様が本業に専念できる環境を作ることが事業ドメイン」と述べる。印刷(POD)もその一環。2010年には神奈川県横浜市にデジタル印刷専門の生産拠点『デジタルプロダクションセンター』を立ち上げ、小ロットカラー印刷の生産力を増強した。デジタルプロダクションセンターでは、HPのIndigo 7500、Indigo 7800のデジタル印刷機2台、リコーのPOD機RICOH Pro C901、キャノンのフォトプリンタDreamLabo 5000が稼働している。主力業務はフォトブック。一日当たり200～300冊を生産し、消費者に発送している。

フォトブックは究極の小ロット印刷商材で、ロットがほぼ1人1冊。このため、印刷して製本、発送までワン・トゥ・ワンに適した生産フローを構築している。

デジタルプロダクションセンターに入る仕事は大きく二つの系統がある。一つがC&Rグループ内で受注した一般案件で、顧客から受注したデータがMISに入力され、作業指示情報とともにセンター内のサーバーに入る。データはセンター内の工務部門で出力に最適化された面付PDFに変換。作業指示情報をもとに作成された作業指示書とともに、現場に送られる。もう一つがフォトブックをはじめとしたWeb to Printによる受注の系統。消費者からフォトブックやカレンダーを受注した企業から受注、もしくは同社が直接Web to Printから受注した案件は、面付済みのデータや自動組版されて面付されたデータが作業指示情報とともにセンター内のサーバーに入る。工務部門を経由せずに現場に印刷用データと作業指示情報が送られる。

フォトブックの納期は中4日。センターは月曜日から金曜日の稼働なので、発注から1週間内で商品が消費者に届く。このほかオプションの特急サービスでは即日、フォトブックを印刷・製本して発送する。工務部門を経由せずに直接、現場にデータや作業指示が流れる仕組みにしているのは、ジョブ数分だけ設計の手間がかかり、印刷前にボトルネックが生じかねないためである。完全データ入稿でほぼ定型でかつ極小ロットのフォトブックではフロント部分を自動化する必要がある。

フォトブックの情報は写真だけである。そのままでは誰が発注した商品か判別できない。このため同社ではバーコードで発注者と商品を紐づけている。また、ジャケット、表紙、本文は別々に出力され、後加工の工程で集約される。入れ違いがないように、後加工ではジャケット、表紙、本文のそれぞれに添付されたバーコードが合致しないと製本できない仕組みとなっている。一つ一つのジョブは箱で管理され、作業指示書とともに次の工程に運ばれる。

「最もリスクがあるのが発送です。ここで入れ違えてしまうと取り返しがつきません。発送まで全ての商品1点1点をバーコードで管理しています。人が介在するポイントを減らし、ミスが発生する可能性を抑えています」



YC Document

上段左) お話を伺った朝香貴裕氏
上段中) 神奈川県横浜市にある
同社デジタルプロダクションセンター
上段右) 1箱につき1ジョブを入れて商品を管理
している
下段左) リコー RICOH Pro C901
下段中) キャノン DreamLabo 5000
下段右) 後加工機器



極小ロットのジョブではできる限り自動化して人手をかけず、しかもミスが発生しない仕組みづくりがポイントになってくる。デジタルプロダクションセンターでは30名ほどが働いているが、出力に携わるのは常時2～3人。この体制で月平均約60万枚を出力している。

新規事業推進室を設置、さらなる変革へ

このほか同社では、Web to Print経由で家族写真が入ったカレンダーを受注し、印刷している。元請けの企業が同社を含めて3社に印刷を委託。同社は月に4～5万枚を印刷している。これも極小ロットで、一家につき印刷して送付するのは原則1枚。フォトブックの仕組みと同様に、商品と発注者の紐づけ、発送先を間違えないようワークフローが組まれている。

フォトブックやカレンダーのフォト商材が柱として成長する一方、同社では次のビジネスを模索している。フォト商材のビジネスはあくまで受託業務のB to B to C。直接、消費者と接するのは受注企業である。今後、Web to Printを活用し、直接消費者と取り引きするB to Cにも取り組む。消費者のニーズを把握しやすくすることで、B to B to Cのビジネスにも好影響を期待する。

2017年2月に導入したDreamLabo 5000はデジタル印刷を活用した新しい事業の創出が狙い。4月にフォト商材に絞ったビジネスを立ち上げる『新規事業推進室』を設置。朝香氏は柔軟な発想を持つ若手社員とともに、出し

合ったアイデアの具現化に取り組んでいる。

「今、デジタルプロダクションセンターではフォトブックを生産するのに手一杯で、新しい事業を持ち込む余地が少ない状況です。DreamLabo 5000はビジネスの見込みがあって導入したわけではなく、これで何ができるかを考えていこうというのが設備投資の大きな動機でした」

同社はまず走り出し、その後に考えようという方針を掲げている。動き出すまでに検討を重ねて実行するよりも、まずは行動を促す。

「これまでは大きい企業からたくさんの仕事をもらって、社員皆でこなしていくというモデルでした。仕事だけを取りに行こうとしたら価格競争になってしまいます。もっとイノベーション的なビジネスを作って、お客様が紙に出したいという付加価値を作っていければと思います」

同社では複写からデジタル印刷へと変革し、新しいビジネスモデルを構築してきた。DreamLabo 5000でこれまで関わってこなかった業種の取り込みを図る。間接的な効果が表れており、DreamLabo 5000の見学に来た見込み客がHPのIndigoに興味を持ち、取り引きが始まったケースも出てきた。

青焼きからコピーへと業態を変えた当時、朝香雅文現社長は、営業体制を刷新し、新規事業の立ち上げに青焼きの営業経験のない若い社員を当てた。朝香取締役は「若い世代がコピーの営業体制を構築していったと聞いています。今もそういう段階なのかなと思います」と、YC・ドキュメントの未来の姿を見据えている。

シリーズ 需要創出を考える⑥

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラー会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探る本シリーズ——第6回は今年のジャグラー作品展受賞企業の中から、石川県支部・(株)栄光プリントさんの事例をご紹介します。

事例7 作品展 / 開発・開拓部門 (学法)日本プリンティングアカデミー賞

『絵本 いしころガインネ おおのからくりきねんかん はくさんきょうりゅうパークしらみね』

～いしかわ応援プロジェクト

絵本を通して地元施設の魅力を紹介～

(株)栄光プリント(石川)



同社・出村明社長

魅力ある商品を目指して

弊社は昭和46年に創業以来、石川県内の官公庁や各種団体・学校をはじめとして、北陸の各種企業に印刷物を提供することを主な事業としてきました。また、創業当時から自費出版にも積極的に取り組んでおり、今までに多くの作品を手がけてきました。現在では印刷だけでなく、Webや企画・デザインなど幅広い情報加工サービスを提供しています。経営理念のトップには、社会貢献という言葉が掲げられています。

パソコンの普及とともに印刷会社に依頼しなくても簡単に印刷やデザインができる時代になり、当社としても新しい商材が少なく、営業展開がしづらくなっていました。どうすれば魅力ある商品を提供できるかを模索していたときに、県内の施設を紹介する絵本の提案ということを考えました。また、地元の方に親しみやすい「絵本」を提案することで、地域の方、行政の方との関わりが深くなり、新しいビジネスチャンスが生まれるのではと考えました。

デザイン・サンプル先出し

石川県には多くの公共施設があります。しかし、中には展示物や所蔵物が素晴らしいのに集客に課題を持つ施設もあります。その原因としては、立地条件などの他に、施設や展示内容の周知が十分ではないということが考えられます。周知するという目的ならば、まずチラシや広報誌が思い浮かびますが、ターゲットはこれからの石川県を支える子ども達であるということから、子ども達にとってより親しみやすい「絵本」という媒体を提案することにしました。

まずは3人のメンバーが「いしかわ応援プロジェクト」

として集まり、企画から話し合いました。提案するに当たって、「デザイン・サンプル先出し」がお客様の心を掴む秘訣だと考え、県内のいろいろな施設の現状を調べるとともに、提案用のサンプル作りも始めました。絵本にはまず主人公が必要ですが、どのようなキャラクターにするか、どのようなストーリー展開にするか、何度も話し合いました。議論を重ねた結果、石川県らしさを出したいということから、キャラクターは石川県の地名の由来でもある「石」に、名前は方言の「～がね」という言葉から「ガインネ」に。こうして「いしころガインネ」は誕生しました。

困りごとをワクワクに

提案先として最初に、県内施設である「白山恐竜パーク白峰」さんの名が挙がりました。隣の福井県に大きな恐竜博物館があり、知名度が高く話題になることも多い中で、「石川県内にも学術的に恐竜に関する素晴らしい施設がある、石川県にも恐竜がいた」ということを、もっと子ども達に知ってほしいという思いからでした。

おおまかなストーリーを決め、あらすじに合わせてイラストを作成し、16ページのサンプル絵本が仕上がりました。それを持って白山恐竜パーク白峰さんに提案しに伺うと、「お客様の集客に非常に困っていた。サンプルを見て自分たちの施設が絵本になっていることにワクワクした！ぜひ作りたい！」という快いお返事をいただくことができました。

製作が決まってからは、よりよい絵本を作るため、メンバー全員で施設を訪問し、見学させていただきました。また、施設の担当者からは、施設内のアピールポイントや子



上段左から
からくり人形と記念館外観
それを絵本で紹介した受賞作



下段左から
白山恐竜パーク白峰の館内
それを絵本で紹介した受賞作

ども達に知ってほしいことなどもお聞きし、それらを盛り込んだ展開を改めて考え直していきました。

絵本だけでは伝えきれないことも多いため、別刷の解説もつけることにしました。子ども達だけでなく、それを読んであげる親世代にも、施設の魅力を知ってほしい。そして、親子でその施設を訪れてほしいという思いでした。

さらに、白山市の市長様から「小学校高学年の授業でも活用出来るように、英訳をつけてほしい」というお言葉をいただき、白山市のALTの先生方の協力を得て、英文も掲載することになりました。

企画を立ち上げて1年、ようやく最初の絵本「いしころガインネとはくさんきょうりゅうパークしらみね」が完成しました。この絵本は、白山恐竜パーク白峰さんで販売するほか、県内の書店にも置いていただくことができました。また、当社のホームページでも紹介しています。その他にも、地元の幼稚園・保育園・小学校に寄付をし、読み聞かせの機会を設けてもらいました。先生方からは「子ども達に改めて地元の施設の良さを伝え、感じられる良い機会になっている」とお言葉をいただきました。

次に提案に伺ったのは、金沢市の「大野からくり記念館」さん。こちらも先におおまかなストーリーを考え、イラストを作成し、サンプルをしっかりと製本し、絵本の形にして持参し、快いお返事をいただくことができました。からくりのしくみや江戸時代の様子などを子ども達にわかりやすく伝えるにはどうしたらよいか苦労しましたが、お客様とも話し合いながら作り上げることができました。

この2冊目の絵本「いしころガインネとおおのからくりきねんかん」は、当社と同じ金沢市内の施設ということもあ



地元紙・北陸中日新聞で
社内の取り組みが紹介されました

り、金沢市内の全小学校に寄付することになりました。金沢市教育委員会から感謝状をいただくとともに、新聞にも大きく取り上げていただきました。

その他にも周年記念のイベント等で来館者へのお土産として渡したり、館内で子ども達への絵本の読み聞かせの時間が設けられたり、施設のアピールの為に有効活用しているというお話をいただいています。

最後に

この絵本の製作によって、会社としての売上が大きく上がったというわけではありませんが、経営理念にもある社会貢献としては大きな意味があったのではないかと思います。また、絵本をきっかけに施設を訪れたなど、絵本を読んでもくれた方からの感想の声も励みになっています。そして、提案をきっかけに関わりを持つことが出来た人たち全てが弊社の財産となったと感じています。

「いしころガインネ」がこれからも石川県内のあちこちで活躍できるように、「いしかわ応援プロジェクト」として企画・提案を続けてゆければと考えています。

ジャグラ

11.21 賛助会員懇談会ひらく 東京グラフィックス

東京グラフィックス（菅野潔会長、東京地協）は昨年11月21日、東京都千代田区の日本教育会館喜山倶楽部において賛助会員懇談会を開催。ジャグラから中村会長・沖専務も臨席し、日頃お世話になっている賛助会員との懇談を深めました。

×

当日の参加者はホスト役の東グラ理事などを合わせ70人と盛況。懇談会冒頭、東京グラフィックスの今期事業に



事業報告会



賛助会員とのパネルディスカッション



日印機協・幅会長のご発声で乾杯

ついて、各所管委員会・部会から説明と報告があり、その後、今回からの新しい試みとして、賛助会員とのパネルディスカッションを開催。2020年以降の印刷業界の展望などについて、議論が交わされました。

(原稿提供：東グラ事務局・吉野)

ジャグラ

11.25 ビジコン！入賞作品決まる 東京グラフィックス

東京グラフィックス（菅野潔会長、東京地協）は、昨年11月25日、賛助会員である(株)モトヤ東京本社にて、ビジコン！（旧ビジネスアイデアコンテスト）のファイナルプレゼンテーションを開催、入賞作品を決定しました。

×

ビジコン！は東グラ青年部であるFACEの企画で開始され、その後、東グラの事業として今回が5回目の開催となります。これまで「介護利用者／従事者／利用者の家族のためのWebプラットフォーム・ケアログ」、「オンデマンドPOP UP 名刺& AR 名刺」、「外国語を話せなくても



東グラ・ビジコンのファイナルプレゼンテーション



1位の都知事賞に輝いた(株)研美社・坂井智子氏

おもてなし Sumimasenからはじまるおもてなしマップ」、「成長するゴミの分別アプリ」などが1位入賞しています。

今回の最終審査の結果は、以下のとおり（上位3位）

- ◎1位 坂井 智子 (株)研美社 / 東京・中央
テーマパーク、イベント会場での迷子札をかわいく作ろう！
- ◎2位 永野加称子 (株)緑陽社 / 東京・三多摩
「帯付きカバー」の歪み解消構造
- ◎3位 豊泉 里菜 (株)研美社 / 東京・中央
ファーマー
鈴木 将人 (株)東京技術協会 / 東京・港
そのものブックカバー

入賞作のうち1位には東京都知事賞、2位には東京都産業労働局長賞がそれぞれ授与されます。

(原稿提供：東グラ事務局・吉野)

日印産連

地方創生応援税制のご案内 企業版ふるさと納税について

ジャグラなど印刷関連10団体で構成する日印産連より「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）のご案内」の周知がありました。

×

これは政府が地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用を推進しているため、概要は下記の通りです。なお、詳細はウェブにて「企業版ふるさと納税ポータルサイト」で検索してください。

◎概要

志のある企業が、寄附を通じて地方公共団体の行う地方創生の取り組みを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。具体的には、寄附額の3割を法人関係税より税額控除するもので、従来からの損金算入による軽減効果（寄附額の3割）と合わせて寄附額の6割が軽減されるものです。（実質的な企業負担は4割となります）

注意すべき点は

- ①一回あたり10万円以上の寄附が対象
- ②寄附の払い込みは、地方公共団体が地方創生プロジェクトを実施し事業費が確定した後に、確定した事業費の範囲に限る
- ③寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止

- ④本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外
- ⑤制度の対象とならない都道府県・市町村がある（ア：地方交付税の不交付団体、イ：地方交付税の交付団体であってその全域が地方拠点強化税制の支援対象外地域とされている市町村*）

※平成29年度において対象外となる地方公共団体

東京都、東京都23特別区・立川市・武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・国分寺市・国立市・多摩市・羽村市・瑞穂町・神奈川川崎市・鎌倉市・藤沢市・厚木市・海老名市・寒川町・中井町、埼玉県戸田市・和光市・三芳町、千葉県市川市・浦安市

日印産連

『技能五輪の周知イベント』のご案内 2月16日（金）城北職業能力開発センター

ジャグラなど印刷関連10団体で構成する日印産連が、厚労省・職業能力開発協会（JAVADA）と連携して『技能五輪の周知イベント』を開催します。

×

同イベントでは昨年の技能五輪にて4位敢闘賞に入賞した早瀬真夏さん（亜細亜印刷(株)）に技能デモンストラーションをしていただき、それを参考にして、本年夏～秋に実施予定の国内代表選考会への応募企業や応募者の準備・目標としていただくことを期待しています。

◎対象

技能五輪国際大会の選手には「2019年末で22歳以下」という条件がありますが、今回のイベントには、その制限は設けませんので、若手技能者はぜひともご参加ください。

◎内容

- ①早瀬真夏さんによるデモ＝オフセット機によるプロセス印刷と自動洗浄。
- ②現状の技能の確認＝希望する若手技能者の方に作業を実際にやっていただく予定ですが、本年夏の国内代表選考会への参加候補者を優先します。

◎日時 / 場所

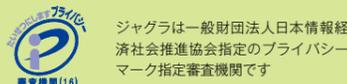
2月16日（金）9：30～16：00（予定）
東京都立中央・城北職業能力開発センター（飯田橋）
東京都文京区後楽1-9-5

◎詳細 / 申込み

日印産連 HP からお申込みください。
<https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=3550>

月刊「グラフィックサービス」794号

■発行日 平成30年1月10日(毎月1回)
 ■発行人 中村 耀
 ■編集人 早坂 淳
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 TEL 03-3667-2271
 FAX 03-3661-9006
 WEB <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿/編集/校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
 酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
 今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
 斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員)
 藤尾 泰一 (旬インフォ・ディー/広報委員)
 日経印刷(株) (校正のみ)

◎組版/デザイン (旬インフォ・ディー)

組 版 = Adobe CS6/CC
 フォント = モリサワ OTF ほか

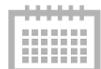
◎印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
 CTP = 富士フィルム XP-1310R 東レ TWL-1160F
 刷 版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
 ハイデルベルグ社 SORD
 インキ = DIC
 用 紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
 ※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とベジタブルインキ(環境配慮型インキ)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>



Copyright 2018 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 また、原則 TM・®マークは省略しています
 ※乱丁/落丁本はお取り替えいたします



ジャグラ スケジュール表

2017.12

- 1日 POD 部会、ジャグラコンテスト会議、教育・技術委員会
- 2日 大分県支部セミナー+忘年会→事務局
- 4日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 5日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 6日 マーケティング委員会
- 7日 経営革新委員会、プライバシーマーク審査員育成打合せ→岩下副会長ほか
- 9日 山梨県支部忘年会(東京・三多摩合同)→中村会長
- 13日 Pマーク審査会、日印産連ステアリングコミッティ→中村会長
- 14日 日印産連専務理事連絡会議→沖専務
- 16日 機関誌新春座談会→中村会長・SPACE-21 役員3氏、日本自費出版ネットワーク在京役員運営委員会
- 19日 経済産業省年末あいさつ→中村会長・沖専務ほか
- 20日 プライバシーマーク現地審査(鹿児島)
- 21日 日印産連知的財産部会→増田理事
- 22日 日印産連環境優良工場表彰審査委員会→沖専務
- 28日 仕事納め

2018.1

- 5日 仕事始め
- 9日 福岡県支部新年交歓会→沖専務
- 10日 理事会、日印産連新年交歓会(ホテルオークラ)→中村会長・沖専務ほか
- 11日 大阪府支部新年互例会
- 12日 製本新年会
- 15日 印刷工組新春の集い(パレスホテル)→中村会長、プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 16日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 17日 広報委員会、日印機協新年互例会(銀座クレストンホテル)→中村会長・沖専務
- 18日 日印機工年始会→中村会長・沖専務
- 19日 宮城県支部新春祝賀会→守田常務、千葉県支部新年合同互例会、愛知県支部新年大集会→沖専務
- 20日 北陸地協新年会(富山)→中村会長、長野県支部新年祝賀会
- 22日 東グラ新年会(東天紅)→中村会長・沖専務ほか
- 24日 プライバシーマーク現地審査(茨城)
- 25日 プライバシーマーク現地審査(東京)
- 26日 神奈川県支部新年会→沖専務、岩手県支部新年会
- 29日 プライバシーマーク現地審査(長野)
- 30日 東グラ理事会→沖専務

2018.2

- 2日 SPACE-21 石川セミナー(金沢)
- 6日 プライバシーマーク審査会
- 7日 Page2018 開会式→中村会長・吉岡理事、プライバシーマーク現地審査(愛知)、プライバシーマーク現地審査(愛知)
- 9日 総務・財政委員会、運営基盤戦略会議、GCJ 新年会
- 10日 PrintNext2018 →中村会長ほか
- 11日 SPACE-21 幹事会
- 21日 マーケティング委員会
- 26日 個人情報保護セミナー

編集後記

新年おめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。平成30年を迎え会員各社の益々のご発展を心より祈念いたします。ジャグラは本年、福岡において全国大会、そして役員改選を行う総会があります。会長はじめ役員候補が決まりましたら理事会に報告し、機関誌等でも公表することにしています。もう少しお待ち下さい。(T.M)

2018年1月号

ジャグラBB HOT NEWS



今月のおすすめ番組

最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



ドローン業界の現状と活用に向けて (ジャグラ全国協議会特別講演)

平成29年11月10~11日に開催されたジャグラ全国協議会特別講演の様相を収録。秋田県支部(株)くまがい印刷・熊谷健司専務より、自社で精力的に取り組んでいるドローンの活用についてお話いただきました。(時間:40分/会員限定番組)



映像で学ぶ印刷のすべて [基礎編][各論](全38巻)

新入社員から中堅社員までを対象に、映像で印刷業界のすべてがわかる「印刷大全」。1番組あたり15分から30分程度の内容にまとめているので、必要な部分だけを抜き出して見ることができます。(時間:各巻15~30分/会員限定番組)



経営者のためのクラウドとAIについて わかりやすく解説するセミナー

大阪で開催されたジャグラマーケティング委員会主催クラウドセミナーの様相を収録。ターン・アンド・フロンティアの高野氏を講師にお招きし、主にgoogleとAmazonのサービスをご紹介いただきました。(時間:1時間31分/会員限定番組)



[シリーズ]知らない損をするWordの仕事術 No.01~06

オフィスワークに欠かせない文書作成ソフトWordについて、仕事の効率アップにつながるワンランク上のテクニックを紹介する新シリーズが登場! 最新巻のNo.6ではリボンタブの活用について解説します。(時間:各巻2~5分/会員限定番組)



[シリーズ]経営と環境 環境優良工場表彰株式会社プリプレス・センター様訪問記

ジャグラ環境委員会が2016年日印産連・環境優良工場表彰奨励賞を受賞した北海道支部の(株)プリプレス・センター様を訪問し、同社製造部工場長の江澤氏より受賞の経緯や環境対応についてお話を伺いました。(時間:24分/無料配信)



[シリーズ]知らない損をするExcelの仕事術 No.01~10

DTPソフトは使いこなしているけれど、Excelは基本機能しか知らない...そんなDTPオペレーター必見の新番組が登場! 仕事で使えるExcelテクニックを影山史枝講師が伝授します。(時間:各巻2~10分/会員限定番組)

ワザコレ! 動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」シリーズで配信する投稿映像を募集しています。みなさんの会社のノウハウを動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。ふるってご応募くださいませ。

ワザコレ! 動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
 応募先メールアドレス: jagrabb@jagra.or.jp

スマホで撮影した動画も受付めます!



ジャグラBB 新規ID登録がお済みでない方は、下記よりお手続きください
https://www.jagrabb.net/app_mail.php



月刊
グラフィックサービス
No.794
2018
01